

シグマ研究委員会諮問調整委員会 議事概要

日時 : 平成元年7月18日 13:00~17:30

場所 : 原子力研究所本部 第5会議室

出席者: 木村(京大工), 中沢(東大工), 中嶋(法政大第一教養),
飯島(NAIG), 大竹(アイ・エス・エル), 松延(住友原子力),
神田(九大工)(以上委員), 五十嵐(原研), 菊池(原研)(以上事務局)

配布資料: JENDL-2利用状況

議事:

1. 委員長(木村)から, 前期諮問に対する答申と今期(第4期)の諮問事項について説明があった。今後の作業の進め方について, まずJENDL-2の利用状況調査をきき, 次に何をやるべきかの相談をしたいとの方針が示された。
2. 核データセンターの五十嵐室長より, JENDL-2の利用状況(平成元年7月12日現在)の紹介があった。これに対し, このままでは何に使って, どんな成果を出したかがよく分からないので, さらに調査を進めて欲しいとの希望が出され, それにそって調査することになった。
3. 今後の検討調査事項として次のような項目と担当者を決定した。
 - (1) JENDLと他ファイルとの比較(技術的問題と組織のことなど)・・・
・・・神田
 - (2) JENDLの利用状況(ニーズを十分満たしているか)・・・核データセンターおよび全委員
 - (3) 関連する報告書, 出版物・・・核データセンター菊池および全委員
 - (4) 核データ関係者の人員構成と次世代の育成・・・飯島, 松延
 - (5) 核データの需要者の変遷, とくに今後の大スポンサーは?・・・大竹
 - (6) 我が国における実験データの状況・・・水本, 木村
 - (7) 今後のテーマと核データ, 予想される利用法とデータ加工・・・全委員, とくに中沢(宇宙関係)
 - (8) 核データにふさわしい流通機構・・・中沢, 核データセンター(菊池)
4. 以下のような関連する討論を行なった。(順不同)
 - (1) JENDL-3ができ上がった今は, のびのびと新しいことをやってゆくの
がよく, こういうことをやったらどうかということを出す。
 - (2) 一方では, JENDL-3を作り上げた技術やノウハウをまとめ EXPERT化
することを考える。
 - (3) 核データの手法の転換も図る。
 - (4) ニーズとその創生, 概念から芽を出し枝葉ができる場合があるなどいろいろ
と話題が出た。
 - (5) データベースと著作権のことについて菊池氏より現状の説明があった。これ
について今後とも避けて通れないであろう。
 - (6) 国際協力の進め方についても今後議論する。
5. 次回は12月15日(金)13時30分より とする。次回から議事概要は
水本委員に作って頂く。